

1. 医学部保健学科教育

保健学科は平成14年度に開設し、本年度で3年目を迎えた。資質の高い医療専門職者の育成を目指し、これまでの2年間の実績をもとに3年目の教育および来年度の学年完成にむけ準備に貴重な1年であった。キャンパスには全学教育との関係で昨年までは1学年のみであったが、本年度は常時2学年がおり活気にあふれていた。さらに、3年次編入生14名を迎え、多様な背景をもつ学生の教育内容への要求も増してきた。

3年次後期には臨地・臨床実習（看護学専攻15単位、理学・作業療法学専攻各4単位）が開講された。医療専門職者の教育において臨地・臨床実習は重要な学習形態であり、今年度の学習内容を評価し、授業内容へのフィードバックや次年度の臨地・臨床実習の内容を検討した。

現行カリキュラムは過密な時間割等の問題があり、見直す必要性に迫られていた。本学科の教育理念をもとに教育内容を精選し、カリキュラムのスリム化を目指して完成年度後のカリキュラム改正の検討を開始した。

(平成16年度 保健学科長：寺崎明美、教務委員長：浦田秀子、学生委員長：森下路子、
入試委員長：松本 正)

A. 全学教育

本学科の開設時にカリキュラムが大幅改正された。卒業要件は30単位で履修単位数の上限が設定されている。2年次は選択科目の履修によっては時間的ゆとりのある学生が多く、全学教育と専門科目の時間割の運用が課題と考えられた。時間的ゆとりのある編入学生にはNICEキャンパスの履修等を勧めている。

平成16年度保健学科教員は12科目の授業科目をのべ16名が担当し、教養セミナーは7名が担当した（表1）。

B. 専門教育

3専攻の専門科目の基礎となる専門基礎科目と、3専攻が専門教育の幅を広げるために他専攻の専門科目の一部を選択できるように配慮した他専攻開放科目、3専攻の専門科目で構成している。

1. 共修科目

3専攻の利点を活かし共修の科目を設定している。必修科目は1年次専門基礎科目の「人体の構造と機能」「栄養・代謝学」「病理学」、2年次「統合ケア論」、3年次「保健統計学」「社会福祉」である。「統合ケア論」は3専攻の教員が分担して開講している。

医学科と共修している1年次の「病院実習」（医学科「医と社会」、保健学科「入門科目」）は3年目を迎えた。医療専門職者の活動の実態を知る、患者の療養生活を知り、チーム医療につい

て考えることを目的としており、学生たちにとって今後4年、6年の学習への動機付けは高く、早期体験実習としての意義は大きいと考える。長崎大学医学部・歯学部附属病院はじめ市内6か所の病院にご協力いただいている（表2）。

2. 専門科目

講義→学内演習→臨地・臨床実習→セミナー→卒業研究と発展的に学んでいく学習形態である。学内演習は臨地・臨床実習で対象者と援助的人間関係を形成するためのコミュニケーション技術や必要な援助技術の習得のためにシミュレーターの使用やロールプレイなど多様な方法で展開している。

3. 臨地・臨床実習

看護学専攻では3年次後期に成人看護学実習（7単位）、精神看護学実習（2単位）、母性看護学実習（2単位）、小児看護学実習（2単位）、在宅看護学実習（2単位）の領域別実習が開講された（表3）。理学療法学専攻および作業療法学専攻では「臨床実習Ⅰ」（4単位）が後期の後半に実施された。看護学専攻では1、2年次と段階的に臨地実習が行われてきたが、理学・作業療法学専攻の学生ははじめての臨床実習である。対象者の治療に必要な評価項目の選択、検査測定の実験および実技修得、さらに医療専門職者としての姿勢・態度を学ぶことを目的としている。実習要項の作成、実習施設（表4、5）の実習指導者との会議等を開催し、実習の準備を十分に行った。実習期間中は実習指導者と連携をとり指導した。

4. 助産師課程「助産学実習」履修者の選考

看護学専攻においては卒業時に看護師、保健師の国家試験受験資格に加え、選択で助産師国家試験受験資格が得られる。しかし、「助産学実習」履修には定員枠が設けられており、希望者の中から16年度は選考基準により19名が選考された。

5. 編入学制度

看護学専攻10名、理学および作業療法学専攻各2名の3年次編入生を受け入れた。既修得単位の認定（上限93単位）、本学のカリキュラムの特徴、卒業要件等履修ガイダンスを実施した。教務委員を中心に履修指定科目、選択科目、看護学専攻においては保健師国家試験資格に必要な科目など単位取得の方法等について個別指導を行った。

6. カリキュラム改正への取り組み

保健学科の教育理念、教育目標のもとにカリキュラムのスリム化をめざし検討を開始した。主な内容は教育内容の精選による科目の編成・統合、必修・選択科目、共修科目、単位と時間

数の見直しなどである。

(文責：医学部保健学科 教務委員長 浦田秀子)

表1 平成16年度 医学部医学科教員の全学教育への参画

A. 全学教育授業科目担当の医学部医学科教員

分野	授業科目名	担当教員
共通基礎科目	教養セミナー	千住秀明、浦田秀子、田中悟郎、徳永瑞子 濱野香苗、田代隆良、中島久良
健康・スポーツ科学科目	健康科学	太田保之、半澤節子
	スポーツ演習	船瀬広三
	健康スポーツ科学	浦田秀子
外国語科目	英語コミュニケーションⅠ	園田健二
	総合英語Ⅰ	園田健二
	総合英語Ⅱ	園田健二
	総合英語Ⅲ	園田健二
人文・社会科学科目	人間と文化	徳永瑞子
人間科学科目	人間の科学	中島久良、宮原春美、松本 正
	人間と環境	長尾哲男、松坂誠應
	生体の構造	加藤克知
総合科学科目	火山と災害	太田保之

B. 全学教育関連委員会の医学部保健学科委員

委 員 会		委 員
教 務 委 員 会		浦 田 秀 子
全 学 教 育 実 施 委 員 会	教養セミナー専門委員会委員	太 田 保 之
	教養特別講義専門委員会委員	中 島 久 良
	情報処理科目専門委員会委員	菊 池 泰 樹
	健康・スポーツ科学専門委員会委員	浦 田 秀 子
	外国語科目専門委員会委員	園 田 健 二
	人文・社会科学専門委員会委員	宮 原 春 美
	人間科学専門委員会委員	松 坂 誠 應
		松 本 正
	自然科学専門委員会委員	菊 池 泰 樹
		折 口 智 樹
		船 瀬 広 三
総合科学専門委員会委員	吉 村 俊 朗	
留学生用科学専門委員会委員	徳 永 瑞 子	

表2 平成16年度 1年次病院実習実習施設

授業科目	施 設 名	
医と社会 入門科目	長崎大学医学部・歯学部附属病院	健友会上戸町病院
	医療法人稲仁会三原台病院	国立病院機構長崎病院
	特定医療法人春回会長崎北病院	医療法人厚生会虹が丘病院

表3 平成16年度 看護学専攻実習施設

授業科目	施 設 名	授業科目	施 設 名
基礎看護学実習	長崎大学医学部・歯学部附属病院	小児看護学実習	葉山保育園
成人看護学実習	長崎大学医学部・歯学部附属病院		長崎市立坂本小学校
精神看護学実習	長崎大学医学部・歯学部附属病院	地域看護学実習Ⅰ	長崎市立山里中学校
	地域活動所 長崎ダルクふぁにー ふあくとりー		十善会訪問看護ステーション
母性看護学実習	長崎大学医学部・歯学部附属病院		フランススコ訪問看護ステーション
小児看護学実習	長崎大学医学部・歯学部附属病院		訪問看護ステーションひまわり
	住吉保育園		訪問看護ステーションコスモス
		訪問看護ステーション鳴見	

表4 平成16年度 理学療法学専攻実習施設

授業科目	施設名	
臨床実習	日本赤十字社長崎原爆病院	西諫早病院
	健康保険諫早総合病院	長崎記念病院
	三菱重工長崎造船所病院	和仁会病院
	長崎大学医学部・歯学部附属病院	長崎北徳州会病院
	光善会長崎百合野病院	特定医療法人春回会長崎北病院
	三佼会宮崎病院	医療法人後藤会ながさき内科・リウマチ科病院
	日浦病院	
	医療法人厚生会虹が丘病院	長崎友愛病院
保善会田上病院	十善会病院	

表5 平成16年度 作業療法学専攻実習施設

授業科目	施設名	
臨床実習	みさかえの園むつみの家	真珠園療養所
	三和中央病院	長崎労災病院
	特定医療法人春回会長崎北病院	介護老人保健施設真寿苑
	西脇病院	長崎大学医学部・歯学部附属病院
	道ノ尾病院	福岡市立子ども病院感染症センター
	長崎県立こども医療福祉センター	健友会上戸町病院
	こぐま学園	宮原病院
	田川療養所	園田病院